

経営比較分析表（平成29年度決算）

岐阜県 輪之内町

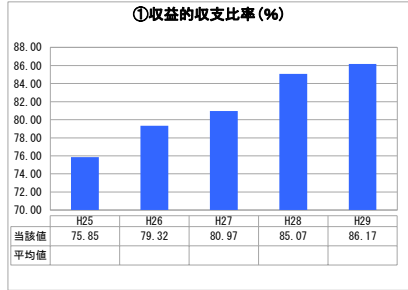
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	84.08	99.78	3,240

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,784	22.33	438.15
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,186	3.27	2,503.36

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



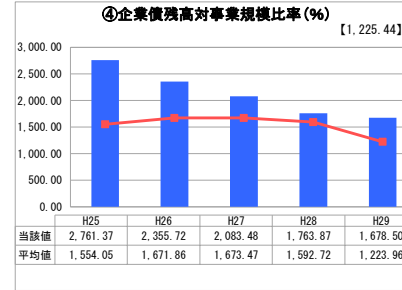
「単年度の収支」



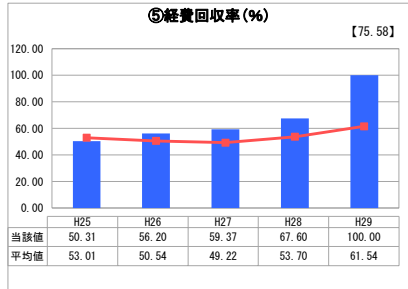
「累積欠損」



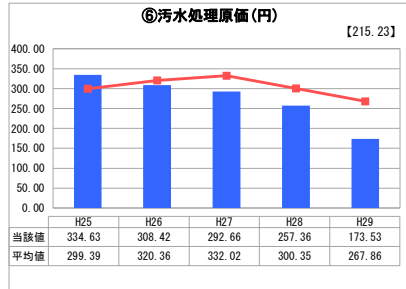
「支払能力」



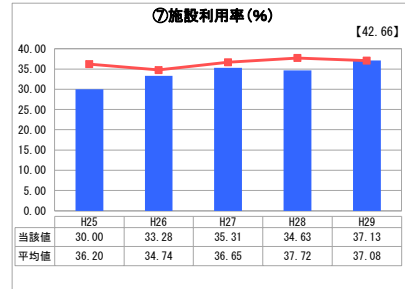
「債務残高」



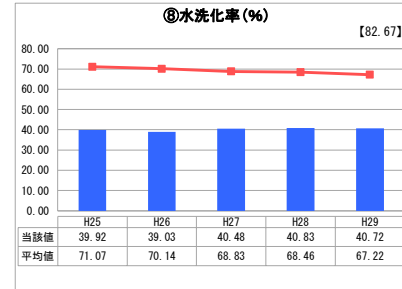
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

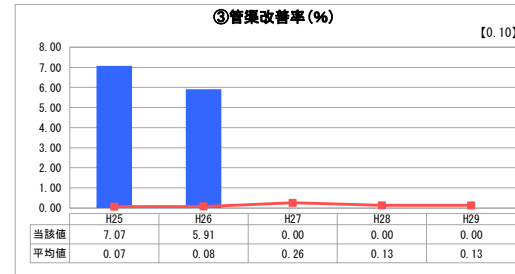
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

輪之内町の下水道事業は、収益的収支比率及び経費回収率において毎年健全化の方向に向かっている。地方債償還金を加味すると赤字となるが、一般会計からの繰入金により経営を賄っている状況です。水洗化率の低迷については毎年下水道利用区域が広がりが利用者が増えてはいますが、全体の割合は横ばいの状態です。今後も、下水道の普及を促すため広報やケーブルテレビによるPRとともに地区説明会で利用の促進及び下水道加入推進員による加入推進に取り組んでいきます。

2. 老朽化の状況について

下水道事業着手が新しく、改築や更新を要する施設が少なく良好な状況であるが、将来的には更新の為に投資も必要になるためストックマネジメントの策定を検討しています。

全体総括

当町では、水質保全と下水道経営の安定化に取り組み、引き続き施設整備の完成と下水道接続率の向上に取り組み良好な下水道事業を進めています。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。